

傍聴席

議会を傍聴して

昌農内 升田裕康

六月の町議会を傍聴させていただいた。ちょっと緊張した。議会の雰囲気慣れないせいもあるが、傍聴する方々が少ないせいもあるだろう。数人の方々の傍聴だった。議会が公開されるという事は、住民一人ひとりが町行政について共に考えるということでも大事なことだ。それなのにどうしてもっと多くの方が傍聴できないのだろうか。私自身傍聴したいなと思いつながら、今までほとんど出来ずにいた。

仕事などで忙しいということもあるが、何か気遣いがし、自分がわざわざ行かなくてもという思いが強かった。少し心身ともに余裕ができてきて、本会議と委員会を傍聴させていただいた。会議は緊張した中で多様な意見が出され、議論に引き込まれた。議題はどれも今松前町にとって大事な事柄で、興味深かった。その一つに「商業地開発」ともなう今（現在）のまちづくりをどうする ① 出店企

業との関わりについて、② 町民との関わりについて」があった。新しい商業施設は一企業の事業であるが、松前町にとって大きなかわりをもつ事業でもある。「鳥の目と虫の目をもとう」といわれるが、討議は両面からなされ、問題が深められた。生活に密着した意見に新鮮さを感じた。よりよい町づくりのため、これからも少しでも時間をつくって傍聴したいと思う。

町民の声

将来の「ごみ集積場」整備を願って

南黒田 岡井武彦

松前町では、地方交付税の減額に備えて財政基盤強化に本格的に取り組んでいる。町長報酬の削減や議員定数の減員・報酬カット、職員人件費抑制等を率先して実行すると共に、町内ごみ焼却費低減策として「ごみの分別回収」開始に続き「可燃ごみ指定袋（有料化）制度」を導入するなど、官・民一体となった取り組みが功を奏してきているようだ。しかし、その一方で旧態依然として取り残されているのが「ごみ集積場」

未整備問題である。収集車の去った現場には「指定袋外」「未分別」「収集期日外」のシールが貼られた袋や粗大ごみが散乱し、夜には野良犬猫が徘徊している。これは、町内各地で日々見られる光景だ！現在、この残務処理や清掃は近隣住民や職員に環境美化のため、善意と好意のもと行っているのが実情。町財政健全化に向け懸命に取り組んでいる現況下、整備に向けける財源が乏しい事も、又「収集に

関する啓蒙活動は行政で、集積場管理は地区の自主努力で」と云う当局の見解も十分理解できる。さりとて、住民達の善意・ご好意にすぎない現状追認をいつまでも続けて行っていないのだろうか。せめて、五年後を目途にごみ袋販売収益の地域還元と受益者負担をセツトにした「整備プラン」を検討組上にあげ、要望する地区から徐々に着手してはどうだろうか。「心豊かな、住環境にやさしい松前町」早期実現のためにも・・・

本会議 本委員会

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけでどなたでも自由にできます

松前町議会は、本会議と各常任委員会
が傍聴席を設け一般公開しています。
傍聴の手続きは、議会事務局（庁舎5
階）で住所・氏名・年齢を書くだけの簡
単なものです。
多くのみなさんの傍聴をお待ちしてい
ます。

町民の声の原稿を お寄せ下さい

町政や議会、
本誌に対するご
意見・ご要望な
どをどしどしお
寄せ下さい。
(500字程度)

宛先

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
町民の声
FAX 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp